



咽頭結膜熱(プール熱)の流行が始まる季節です!

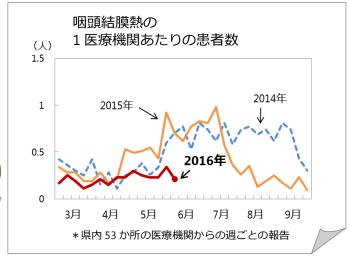
咽頭結膜熱は、夏風邪の一つで、

プールで感染することもあることから「プール熱」とも呼ばれます。

例年、6月頃から患者が増加し始め、 7月から9月にかけて流行します。 県内では、まだ目立った患者の 増加はみられませんが、 流行に備え感染予防に努めましょう!

昨年は、5月頃から 流行が始まりました。 今年も注意しておきましょう





どんな病気?

アデノウイルスによって起こる感染症で、

発熱、のどの炎症(咽頭炎)による**のどの痛み**、

目の炎症(結膜炎)による目の充血や痛みなどの症状があらわれます。 とくに、5歳以下のお子さんに多くみられます。



どうやってうつるの?

アデノウイルスは、感染した人の鼻水や唾液、便の中に含まれていて、 **咳やくしゃみのしぶきを吸い込む**こと(飛沫感染)や、 手指を介してウイルスが口や目に入ること(接触感染)でうつります。

予防のポイント

- 石けんを使ってこまめに手を洗いましょう
- プールでは、同じタオルや目薬を、 他の人と一緒に使わないようにしましょう







保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。